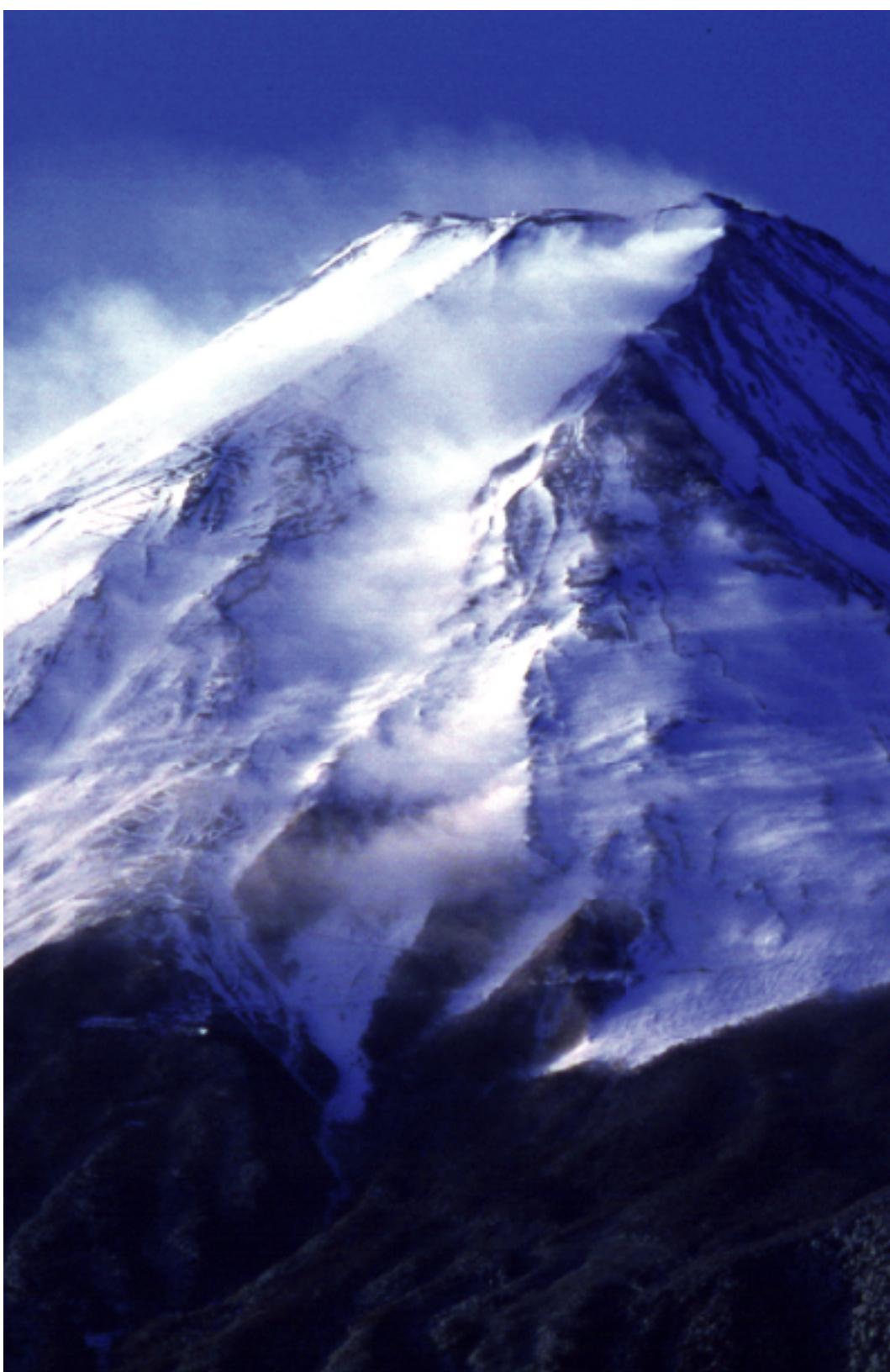


観光立県 富士の国やまなし



観光立県「富士の国やまなし」の創造・実現へ

山梨県長期総合計画「創・甲斐プラン21」にも挙げられている、観光立県「富士の国やまなし」の実現に向けて、県ではさまざまな取り組みを行っています。
豊かな自然など恵まれた資源を有する本県において、観光の振興は経済面の振興につながるだけでなく、地域住民に対してさまざまなメリットがあります。
ここでは、観光立県「富士の国やまなし」をテーマに、本県における観光立県の意義と、現在行われている取り組みを紹介していきます。

やまなしの魅力に磨きをかける

山梨県は首都圏の一部にありながら、富士山をはじめ南アルプス、八ヶ岳などの豊かな自然、全国一

の生産量を誇るぶどう、ももをはじめとし、フルーツ王国といわれる農業、ミネラルウォーター、ワインや研磨・宝飾などの特色ある地場産業など、数多くの観光資源に

恵まれています。

国際化や経済のグローバル化がさらに進展する21世紀は、国境を越えて個人や企業が結びつき、人々が地球規模で活発に行き交う大交流の時代だといわれています。
県では、恵まれた観光資源にさらに磨きをかけ、観光立県「富士の国やまなし」を実現していくこととしています。

地域経済を元気にする観光

観光動態調査によると、平成十五年中に山梨県を訪れた人は約四千万人、その人たちの消費額は約三、五〇〇億円となっています。
産業としての観光は、旅行業、宿泊業、運輸業にとどまらず、飲食業、みやげ物販売を含む小売業、広告業、さらには農林水産業、建設業などあらゆる産業に関係する裾野の広い総合産業です。

したがって、観光の振興は、幅広い経済波及効果が期待され、地域経済の活性化につながるものです。

地域の魅力を引き出す観光

観光振興のメリットは経済面に限るものではありません。観光は、これまで見過ごされてきた地域の歴史、文化、伝統などの個性をよみ

知事から一言

山梨県知事 山本 栄彦



観光の語源とは、地域の「光」を観ることだといわれています。「光」とは文物、政治、暮らし向き、風俗などでしょうか。私は観光を振興する上で重要なことは、地域がいかに光り輝くかであると思います。そのためには、まず自分たちが自らの地域に誇りを持ち、生き生きと暮らしていることが重要なのではないかと考えています。

者来る」という言葉がありませんが、まさに観光の振興はこの言葉につぎるのではないでしょうか。
地域の住民が喜びに満ちあふれ、幸せに暮らしている状況を見れば、自ずと外から人は集まってくるはずですよ。ぜひ県民のみなさんの底力を、魅力ある地域づくり＝魅力ある観光地づくりに発揮していただきたいと思っています。

Fureai



観光の振興を図るための事業

このように数多くのメリットをもたらす観光の振興を図るため、県ではさまざまな取り組みを展開しています。



中国の旅行関係者への観光プロモーション

国際観光のプロモーション

本県には、年間約四十万人の外国からの観光客が訪れています。今後、東アジアからの観光客、特に海外渡航が容易になった中国からの観光客が飛躍的に伸びる可能性があります。

山梨の魅力発信拠点の設置

首都圏をターゲットとして積極的に本県の魅力を発信するため、乗降客の多い東京駅近くに「富士の国やまなし館」を設置し、誘客のためのPRや県産品の認知度アップを図ります。

(十月二十八日オープン予定)



「富士の国やまなし館」イメージ

山梨の魅力メッセンジャー

県内の大学生・短大生に山梨について、歴史・文化・自然をはじめ、

があります。

そこで中国旅行関係者への観光プロモーションを実施(六月二十一日〜二十二日)しました。また、秋には韓国旅行業者を招き、県内の観光施設を見学してもらおうほか、来年一月には上海観光展に出展して観光客の誘致を図っていきます。

富士の国やまなしフィルム・コミッションの立ち上げ

山梨県を舞台とした映画やテレビドラマが上映されたり放映されると、山梨の魅力が国内外に発信され、観光客の誘引につながります。県では、映画、テレビドラマ、CM



映画撮影風景

などのロケーション撮影を誘致したり、実際のロケをスムーズに進めるため、「富士の国やまなしフィルム・コミッション事務局」を八月二十日に設立しました。

エコツーリズムの推進

青木ヶ原樹海には、近年、ガイドの案内により原生的な自然を体験するエコツアーに多くの人が訪れています。県では、六月に環境保全と両立させながらエコツアーを実施していくためのルールとして、「青木ヶ原樹海等エコツアーガイドライン」を策定しました。

地域の自然環境や歴史文化などを体験してもらいながら、資源の保全と観光振興、地域振興を両立させる新しい観光のあり方を「エコツーリズム」といいますが、この



エコツアー(青木ヶ原樹海)

い出に残る出会いや県産品を作文や写真、絵手紙で紹介してもらおう「山梨を楽しまう! キャンペーン2004」を展開しています。



旅の絵手紙

魅力ある観光地づくりにモデル事業

地域に点在する観光資源を結びつけ、新たな魅力を持った観光地づくりを推進していきます。このため、自主的な創意工夫で魅力ある観光地づくりに意欲的に取り組もうとしている地域をモデル地域として指定し、これらの取り組みに支援していきます。

県民挙げてのおもてなしの推進

すばらしい景観やおいしい食材に出合うばかりでなく、温かい心のふれあいに接するのも旅の楽しみの一つです。

県民を挙げて来訪者を温かく迎え入れ、観光客と県民とのふれあいを通じて、山梨へのリピーターを増やすことを目的とした事業を推進しています。

自然や歴史・文化など、県内各地

たび富士山北麓地区が環境省のエコツーリズム推進モデル地区に選ばれたことを契機として、今後、エコツーリズムの先進的取り組みを進めていきます。



やまなしグルメマジック(料理界の巨匠たちのトークショー)

やまなしの味づくへい

最近、地域の郷土食を大切にするスローフードが話題となっています。山梨には、ワインや果物、甲州牛など気候や風土がはぐくんだ、個性のおいしい食材がたくさん

の魅力を案内する観光ボランティア活動を広めていくためのモデルケースとして、ボランティアガイド「甲府城御案内仕隊」を結成し、甲府城跡を訪れる人々を無料でガイドしています。

また、山梨を訪れる人々を温かく迎える『山梨のおもてなし度』の向上を図るため、観光客に接する機会が多い観光業に携わる人々を対象とした「おもてなし講習会」を実施しています。

さらに山梨を訪れる人々とのふれあいを通じて、互いに喜びや楽しさなどを共有できるような心温まる「おもてなし」を目指して、『山梨の「おもてなし」キャッチフレーズ』を募集しました。

おもてなしの事例

おもてなしは観光業に携わる人だけでなく、県民すべてが実践していくことにより、県外から魅力ある観光地として認識されていくものです。

では、実際に観光の現場に携わっている方々は、どのような「心」で観光客と接しているのでしょうか。

次ページからはおもてなしの事例として、観光客と接している方々の事例を紹介します。